

亀山市子ども・子育て（ヤングケアラー）実態調査
アンケート調査等の実施方針

1 実施目的

本来大人が担うと想定されている家族のケアを日常的に行うことで年齢や成長の度合いに見合わない重い責任を負っていると思われる子ども「ヤングケアラー」に関する実態、現状や直面する課題、意向などを把握することにより、ヤングケアラーの支援として取り組むべき施策を検討するための基礎資料とするとともに、亀山市におけるヤングケアラーの傾向等を把握するため。

2 実施計画

調査趣旨	子ども本人や学校等関係機関を通じて、ヤングケアラーの実態を把握するための調査
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生（高学年：5・6年生）、中学生、高校生 約 2,800 名 ・学校等関係機関
想定設問数	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒：ヤングケアラー支援体制強化事業実施要綱及び国・他縣市等の調査を参考とする 30 問程度 ・関係機関：原則調査シートによる回答とし、必要に応じヒヤリングを実施
主な調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ○回答者の属性、家庭の状況など ○普段の生活について ○家族のケアの有無（有る場合、その状況（ケアの対象者、頻度、時間等）） ○ケアによる悩み、生活への影響 ○他者への相談状況 ○助けて欲しいこと、必要としていること ○ヤングケアラーについて（イラストを含め一般的な例を提示する。） ○自由記述 ○その他実態の把握、支援策を検討する上で必要な事項
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB 形式によるアンケートを検討 ・参考：平成 30 年度実施の子どもの貧困に関する実態調査は、学校を通じた直接配布・回収方式
調査実施時期	令和 6 年 1 月